



はりうす

第7号 令和5年10月31日発行

☆ 教育目標 ☆
○学習にはげむ子ども
○礼儀正しい子ども
○健康な子ども

【重点目標】
目標に向かい学び合う
児童の育成

「身近に本のある生活を・・・」

校長 脇本 麻友美

すっかり日も短くなり、猛暑に見舞われ寝苦しかった「夏」が嘘のように、朝夕の寒さを感じる季節となりました。今年は雪虫（ケヤキフシアブラムシ）が大量に発生していますが、ニュースによると、この大量発生も夏の気温の高さが影響しているらしく、気候の変化が様々なところに影響していることを感じます。

今月14日に今年度の「学芸会」を無事開催することが出来ました。子どもたちはマスクやフェイスシールド無しで演じ・歌い、練習の成果を発揮し、今年のスローガンのように舞台から最高の笑顔を届けることができました。保護者の皆様、地域の皆様、お忙しい中ご来校いただき、子どもたちに励ましのお言葉、並びに温かな拍手を頂戴しましたことに心より感謝を申し上げます。誠にありがとうございました。

さて、例年、文化の日の前後に読書週間が設定されます。今年も、その時期になりました。この読書週間の歴史は古く、関東大震災で焼失した大量の書籍の復興がきっかけだったそうです。先日、本校での新しい試みとして市立小樽図書館のご協力をいただき「ブックフェスティバル」を開催しました。当日は図書館から1000冊の本をお借りして体育館の床に広げ、子どもたちは自由に手に取りながら自分のお気に入りの一冊を探していました。また、絵本の会「おひさまはらっぱ」の皆様にもご協力いただき、大型絵本の読み聞かせを行ったり、保護者の皆様のご協力をいただき本の貸し出しを行ったりしました。ご協力いただき皆様どうもありがとうございました。

読書は語彙力を高めることにつながり、語彙が増えることで自分の気持ちを上手に相手に伝えられるようになります。さらに、文章からその場面や登場人物の気持ちを考えることで、想像力が豊かになります。また、本の世界に入り込むことで集中力が高まるとも言われています。読書を通じて考える力や感性を磨き、精神的・人間的な成長を促していくことは、小学生の時期にとっても重要なことです。

子どもたちの読書への関心を高めるためには、まずは本に触れる機会を増やすことが大切だと考え、今年も毎週火曜日の朝の時間を「読書タイム」として、10分間全校で読書に取り組んだり、図書館司書の方のご協力を得ながら、読み聞かせを行ったりしています。

寒さが増していくこれからの季節、ウィンタースポーツを楽しむとともに家の中で過ごす時間も増えるのではないのでしょうか。ちょっとした時間に本を手に取り、読書の世界を楽しむことで、子どもたちにとって読書が身近なものになっていってほしいと思います。



「北しりべし広域クリーンセンター」

～ 3・4年 社会科見学

10月19日（木）3・4年生はスクールバスに乗り、「北しりべし広域クリーンセンター」へ社会科見学に行きました。ここでは、小樽をはじめ、後志管内6市町村から集まってくるごみを処理し、リサイクル資源を分別しています。子どもたちは、映像資料を見て基礎知識を学び、担当者の案内のもと施設内を見学し、質問をしたりメモを取ったりするなどして施設の役割について理解を深めることができました。



手話を学びました！～ 5・6年生

10月25日（水）2校時は、5・6年生の教室にて、小樽ろうあ協会の米谷理事長を講師としてお招きし、手話の授業を行いました。

はじめに、聴覚障害についてのお話がありました。見た目だけでは、聴覚障害をもっているかどうかは分からないことから、誤解されることがあるそうです。

次に、徳山さんの通訳を介しながら、米谷さんから様々な手話を学びました。「手話は観ることば」だそうです。ボタン・時計・ボール等の丸い物や自転車・オートバイ等特徴が似ている物の伝え方等を教えてくださいました。また、身振り手振りだけではなく、楽しいなら楽しそうに、おいしいならおいしそうに、表情で伝えられるとよく分かるということも学ぶことができました。子どもたちは順番に指名され、自分なりに考えた手話を用いて表現し、米谷さんから助言をうけるなど実践的な学習となり、手話について学ぶ貴重な1時間となりました。



薬物のおそろしさを学びました

～ 5・6年 薬物乱用防止教室

10月18日（水）2校時は、小樽警察署生活安全課より熊谷巡査長を講師としてお招きし、薬物乱用防止教室を行いました。子どもたちは「友達の家族からビールを勧められたら、みなさんは断ることができるか」という身近に起こり得る事例から学んでいきました。「薬物乱用」という言葉から「何度も使うと乱用」だから、「1回だと乱用ではない」と思いがちですが、一度でも使用すれば「乱用」だということに子どもたちは驚いていました。お酒の脳への影響を映像に示したり、薬物の悪影響について詳しく教えてくださったりするなど貴重な学びの時間となりました。最後に、子どもたちからの質問にもていねいに答えてくださいました。



避難訓練（地震）～命を守るために

10月25日（水）は、地震を想定した避難訓練を行いました。校内に非常ベルが鳴り響き、子どもたちは、「地震により1階機械室から出火。直ちにグラウンドへ避難してください。」という放送を正しく聞き取り、職員の指示でグラウンドへの避難行動を開始しました。避難後は、消防署の方から「火事では、煙を吸い込んで倒れてしまうことで亡くなる方が多いのです。ですから、鼻と口をハンカチで押さえて、煙を吸わないように避難してください。また、ハンカチは包帯や絆創膏の代わりとしても使うことができます。」等とお話があり、子どもたちは真剣に聞いていました。今回の避難訓練を通して、子どもたちは、命を守るための行動について、理解を深めることができました。



「第2回生活リズムチェックシート」集計結果をお知らせいたします

9月8日（金）～9月14日（木）の一週間に渡り、学習や読書、遊びの時間等を記録したチェックシートを提出していただきました。保護者の皆様のご協力、誠にありがとうございました。今回の集計結果の概要をお知らせいたします。

就寝時刻の平均21時18分（1回目21時21分）、起床時刻の平均6時45分（1回目6時34分）、家庭学習（学年×10分+10分）を達成している割合26%（1回目28%）、1日平均の読書時間30分を達成している割合22%（1回目15%）、テレビを見た時間の1日の平均67分間（1回目67分間）、ゲーム・インターネット1日平均60分以下を達成している割合56%（1回目54%）という結果でした。

前回と大きく変わっているところはありますが、読書時間については若干の改善傾向が見られます。子どもたちが「読書の秋」に本に触れる機会をつくってあげてください。

今回は、土・日も含めた集計結果となっております。土・日になるとゲーム・インターネットやテレビ等の時間が大幅に増えている人もいます。ご家庭の予定もあると思いますが、できる範囲で土・日も読書や家庭学習の時間を確保できるよう保護者の皆様のご理解・ご協力をお願い致します。